国立看護大学校研究紀要 投稿規定および執筆要領

投稿規定

【名　称】

本誌は国立看護大学校研究紀要（以下，紀要と称す）とする。

【目　的】

紀要は本学における研究の推進と研究成果の発表の場の提供を目的とする。

【発　行】

原則として年1回刊行する。

【掲載論文】

掲載論文は，未発表のものに限る。ただし，学会発表など，学術論文ではない形で公表した研究については，その旨（学術集会名，発表日など）を明記すれば掲載可能とする。

原稿の種類は，原著，総説，その他であり，それぞれの内容は以下のとおりである。

1）原　著……独自のデータに基づき，独創性が高く新しい知見が論理的に示されている学術論文

2）総　説……特定のテーマについて，文献のレビューなどを通して知見を多面的に概観し総合的に概説した学術論文

3）その他……1) 2) に該当しないが，記載に値すると学術研究委員会（以下，委員会と称す）が判断したもの

※学術論文とは，論文の構成に，緒言・目的，研究方法，結果，考察を含むものとする。

【投稿資格】

1）本学教職員（学外者との共同研究も可）

2）本学非常勤講師（学外者との共同研究も可）

3）在職中の研究を発表する本学元教職員

4）その他委員会が適当と認めたもの

【原稿の受付および採否】

1）受付日は，紀要の提出要件を満たしている原稿の委員会への到着日とする。

2）投稿原稿の採否，原稿の種類，採用決定日，掲載順は査読を経て委員会において決定する。

【倫理的配慮】

人が対象である研究は，倫理的に配慮され，倫理審査委員会等の承認を得たことが明記されていること。

【原稿の提出】

1）原稿は正本1部と副本（著者名や連絡先のメールアドレスなど，著者を特定できる情報を削除したもの）3部を提出する。さらに採用決定後，求めに応じて原稿の電子ファイル(Microsoft Word)を提出する。

2）原稿の作成方法などの詳細は，委員会が定める執筆要領による。

3）原稿は郵送・メール・直接持参のいずれかの方法で提出する。郵送する場合は，封筒に「投稿原稿在中」と朱書きし，書留郵便とする。メールの場合は，原稿を添付し，kiyo@ncn.ac.jp 宛て送付する。委員会がメールを受

信後 3 日以内に，投稿メール送信元に確認のメールを送信する。確認メールが届かない場合は，問い合わせ先まで連絡する。

4）原稿の提出先および問い合わせ先

〒204-8575　東京都清瀬市梅園 1-2-1　国立看護大学校 学術研究委員会

電話：042-495-2211

【著者校正】

著者校正は印刷上の誤り程度に留め，内容の大幅な変更や加筆は認めない。

【インターネットでの公開】

掲載された投稿論文は，インターネット上での公開を前提とする。

【著作権】

投稿された論文が本誌に掲載された場合，印刷版面を利用して複写・複製・送信し（データベース化などの変形使用も含む）頒布すること，翻訳・翻案・ダイジェストなどにより二次的著作物として頒布すること，および第三者に対して転載を許諾する権利は国立看護大学校に帰属する。なお，これは，著作者自身のこれらの権利を制限するものではない。

執筆要領

【和文原稿の執筆要領】

和文原稿の執筆要領は以下のとおりとする。なお，英文原稿の執筆要領については，英文用投稿規定(Information for Authors)の執筆要領(Manuscript Preparations)の項に従う。

1）原稿は Microsoft Word を用いて作成する。

2）原稿はA4 判用紙を用い，余白を十分にとり 1 枚あたり 35 字×28 行（980 字）横書きとする。本文，文献，図表の総ページ数は，980 字×16 枚以内とする。図表は 1 点につき 0.5 枚として計算する。

3）原稿はA4 判用紙の片面のみに印刷し，表紙から図表までページ番号を余白下中央に記す。

4）数字・欧文は半角を使用する。

5）本文の章立，項目番号はⅠ．→1．→1)→(1)とする。

6）本文中の文献の記載方法，および文献リストの記載様式は下記に別途定める。

7）図表は，図 1，表 1 など通し番号をつけ，本文とは別に 1 表 1 図ごとにA4 判用紙を用いて作成し，原図は，そのまま製版が可能なものとする。本文欄外に挿入希望位置を朱書きする。

8）図表および統計数値の記載は原則として APA（アメリカ心理学会）論文作成マニュアルに従う。

9）正本原稿には，表紙をつけ，上半分に表題，著者名，所属機関名，5 語以内のキーワードを記載し，それぞれに英文を付記する。下半分には希望する原稿の種類 （「原著」「総説」「その他」），原稿・図・表の枚数，連絡責任者の氏名・住所・電話番号・FAX・e-mail アドレスを明記する。副本 3 部については、表紙、本文等から著者を特定できる情報をすべて削除する。

10）要旨は，和文要旨（400 字程度）および英文要旨（250 語程度）を記載し，それぞれ日本語のキーワード（5 語以内）および英語のキーワード（5 語以内）を付記する。ただし，希望する原稿の種類が「その他」の場合は，英文要旨および英語のキーワードを省略することができる。

11）投稿に際し，原稿は，表紙，要旨，本文，文献，表，図の順に重ねて提出する。

【文献の引用および記載様式】

文献の引用は，公表された著作物からのものに限定し，その出典を明記し，引用する必要性と照らして必要最小限の引用に留める。

1）本文中の文献の記載方法

(1) 文献の本文中の引用は，著者の姓，発行年を括弧表示する（佐々木，2001）。部分的に引用する場合には，著者名，発行年と併せてページ数を明示する（駒松，1995，p.155）。

(2) 2名以上の著者の共著の場合は，筆頭著者の姓だけを引用して「ら」または“et al.”をつける（竹田ら，2002）(Woods et al., 2001)。

(3) 同じ著者の複数の文献を同一箇所で引用したり，異なる著者による複数の著作を同一箇所で引用したりする場合には，同じ括弧の中に筆頭著者の姓のアルファベット順で文献を並べ，セミコロンで文献を区切る。

例）（安藤，1991，1993；野村ら，2000a，2000b；Woods et al., 2001；米田ら，2005）

2）文献リストの記載様式

文献リストは，本文末尾に「文献」として，和文，英文を分けずにすべて筆頭著者の姓のアルファベット順に並べる。共著者は6名まで表記し，7番目以降の著者は「他」として表記する。

記載方法は下記の例示に従う。なお，英文の記載様式については，英文用執筆要領を参考にする。

(1) 雑誌掲載論文の場合

著者名（発行年）．論文の表題．掲載雑誌名，巻（号），最初のページ数-最後のページ数．

例）國島広之，平真理子，野津田志保，金澤悦子，佐藤カク子，八田益充，他(2005)．感染対策地域ネットワークに関するアンケート調査．環境感染，20(2)，119-123.

Matsumoto, A., Kanda, K., & Shigematsu, H. (2002). Development and implementation of a critical pathway for abdominal aortic aneurysms in Japan. *Journal of Vascular Nursing*, *20*, 14-21.

(2) 単行本の場合

著者名（発行年）．書名（版数）．出版社名，発行地．

例）松井和子(1996)．頸髄損傷―自立を支えるケア・システム．医学書院，東京．

Polit, D. F., & Hungler, B. P. (1999). *Nursing research: Principles and methods* (6th ed.). Philadelphia: J. B. Lippincott.

著者名（発行年）．論文の表題．編者名，書名（版数）．ページ数，出版社名，発行地．

例）駒松仁子(1995)．臨床看護の視座―《ふれる》ことをめぐって．山岸健編，家族／看護／医の社会学．p.155，サンワコーポレーション，東京．

(3) 翻訳書の場合

原著者名（原書の発行年）／訳者名（翻訳書の発行年）．翻訳書の書名（版数）．出版社名，発行地．

例）Smith, P.(1992)／武井麻子，前田泰樹監訳(2000)．感情労働としての看護．ゆみる出版，東京．

(4) インターネット上の資料の場合

著者（可能であれば），文書タイトル，日付（出版または更新もしくは検索の日付），アドレス(URL)

【図表などの他誌（書）からの転載・改変】

図表などの他誌（書）からの転載・改変などに関する責任は，すべて著者が負うものとし，下記の事項を守る。

1）転載・改変の際は，原著者ならびに出版社に書面許諾をとり，許諾書を委員会に提出する。

2）転載・改変は，必要性，必然性があり，かつその目的と照らして必要最小限とする。

3）出典および許諾を得た旨を図表などの脚注に明記する。

（2011年11月9日改訂）